

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	57	豊田市立 道慈小学校	代表	成瀬久美子
------	----	------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	ふるさと小原のよさを学び、未来につなぐ子どもの育成 サブテーマ ～道慈ふるさと学習を通して～	分野	h	伝統文化
学校づくりの視点（～ねらい～）	小原のひと・ものから学ぶ活動を通して、小原の人たちの地域への思いに触れさせて小原のよさを発見・理解し、「ふるさと小原」に愛着をもち、将来の小原について考えようとする子に育てる。そのために、次の4点を具現化する。 ①小原の伝統文化・芸能（小原歌舞伎体験・小原和紙の制作）を体験し、それらを誇りに思う気持ちを高める。 ②小原の気候を生かした作物を育てる活動や小原の特色・四季桜などの調べ学習を通して、小原の自然の豊かさに気付き、その自然を守ろうという気持ちを高める。 ③生活科や総合的な学習の時間で、町探検や小原の自然、人、歴史、伝統文化などをテーマに取り上げ、交流・体験活動を交えた学習を通して追究力を鍛え、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を伸ばす。 ④へき地小規模校の強みを生かすために、補助員を配置し、そのきめ細やかな指導や支援を受けることで、道慈小学校の教育活動を充実させる。	(その他)は分野を右欄に記入		
活動内容・計画	活動内容 ①全校児童で、小原の伝統工芸である和紙作品づくりを通して和紙のよさを感じ取り、その取組を衣丘小の交流に生かす。 ②栽培活動で野菜を育てるを通して、地域の農業や食文化について体験的に学ぶ。 ③各学年の生活科や総合的な学習の時間に小原地区をテーマにしたり関連させたりした学習を計画し、授業参観等で学習の成果をまとめて発表する。 1・2年 小原、道慈に住む生き物を飼育したり観察したりすることで、自然について学習したり、町について調べたりする。 3・4年 地域の福祉施設や和紙工房などの訪問・交流・小原歌舞伎を演じることを通して、地域の特色を学ぶ。 5年 水田や畑で米や野菜を栽培し、小原の米作りについて全国の米作りと比較しながら学ぶ。 6年 小原の歴史、自然、文化、特色について学ぶ。 全校 5月衣丘小4年児童来校の際、小原の伝統食である五平餅を一緒に作り、地域の食文化について学ぶ。 ④体力向上補助指導員や校内整備員の専門的な指導や支援を受け、学習環境を整える。 活動計画 4月 栽培活動や「道慈ふるさと学習」の計画を立てる。（全学年） 5月 田おこしや代掻き、田植えを行い、稲作りを進める（5年生） 衣丘小学校を招き、五平餅と一緒に作り交流する。（全校） 6・7月 伝統工芸の和紙作品作りに取り組む。（全学年） 和紙の歴史等について追究学習を行う。（4年生） 生活科や総合的な学習の時間で、調べ学習や施設訪問、地域講師を招いての講演などを行い、追究学習を進める。（全学年） 9月 稲刈り・脱穀を行う。（5年生） 伝統文化の「小原歌舞伎」を学ぶ。（3・4年） 11月 生活科や総合的な学習で、調べ学習や施設訪問、地域講師による講話など、追究学習を進める。（全学年） 1月 カンゾカシキに参加する。（3・4年生）発表に向けて追究学習を進める。（全学年） 2月 発表を行う。			
補助員配置	体力向上補助指導員 校内整備委員			
実績・期待される効果	・地域の歴史や文化、自然を学ぶことにより、ふるさとの誇りと愛着をもつ。 ・地域講師から学ぶことで、小原に住む人たちの地域への思いを感じ取る。 ・体験を重視した活動を通して、児童の追究力を鍛え、思考力・表現力を伸ばす。 ・体力向上補助指導員を配置することで、体育の好きな児童が増え、運動量の確保、技術の向上、個別指導の充実を図る。 ・校内整備員を配置することで、校地整備が進み、学習環境が安全かつ使いやすくなる。			
検証方法	・和紙作品づくりでできた作品や上演した歌舞伎と児童の感想 ・「保護者アンケート」の結果や地域講師の方からの評価 ・今年度と昨年度の体力テストの結果の比較・分析 ・体育の授業の振り返りや感想、なわとび大会などの大会での児童の記録や感想 ・校地整備の状況や担任・校務主任の畑や水田などの環境整備にかかる時間の削減状況			

【令和7年度用 様式2-表】

令和7年度国際交流・都市と山間の教育交流事業 計画書

学校番号	57	豊田市立 道慈小学校	代表	成瀬久美子
------	----	------------	----	-------

○で選択

テーマ	小原・道慈のすばらしさを知らせ、それぞれの地域の特徴を学ぼう	国際	
サブテーマ	～衣丘小学校との交流活動を通して～	都市と山間	○
ねらい	①伝統工芸である小原和紙の作り方と小原の郷土料理の一つ五平餅の作り方を調べ、衣丘小学校の4年生に教えることを通じて、小原和紙や五平餅について再認識するとともに小原の文化への誇りをもつ。 ②お客様を迎える準備や接待の仕方を身に付け、進んで行動できるようにする。 ③衣丘小学校の「みかん祭り」に参加し、みかんを収穫することで育てる苦労を感じる。 ④衣丘小学校の授業に参加することで「多人数の授業」を体験するとともに、自分の考えを堂々と発表する力を育てる。		
活動計画	4月 交流に向けての企画・準備を開始する。 5月 衣丘小学校の4年生の訪問に向けて、日程や交流内容などを職員会議などで検討し、児童への指導を始め、準備を進める。衣丘小学校の4年生の訪問を受け、4年生が小原和紙を6年生が五平餅の作り方を教える。その他の学年が道慈小の名所をウォークラリー形式で案内する。また、高学年を中心としてはじめの会や終わりの会・伝統文化の説明会を企画・運営したり、お弁当と一緒に食べたり、グループで遊んだりする活動を通して交流する。 10月 衣丘小学校への訪問に向けて、グループ編成、自己紹介など準備を進める。 11月 1~4年生が衣丘小学校を訪問し、みかん狩りや多人数の授業を体験する。 12月 衣丘小学校へお礼の手紙を書く。		
期待される効果	・都市部の学校の様子と比較することで、都市部の特徴を知るとともに自校の学校の特色や特性、よさなどをより明確に感じることができる。 ・和紙の制作や五平餅の作り方、道慈小の自慢などを衣丘小学校との交流の4年生に説明することを通して、発表する力を身につけることができる。 ・衣丘小学校の多人数の授業を体験することで、たくさんの人の前で発表する力を身につけることができる。		